スサの邑 あしたば悠々倶楽部通信

2023. 5月号 NO.35

葉桜の5月号

薄桃色の桜の木が葉桜に変わり、目に美しく心地よい、そんな5月になりましたね。皆様お元気ですか？このたび「スサの邑」の**ブログを開設**いたしました。「スサの邑」のスタッフが、畑の様子、明日葉の魅力や食物繊維のこと、腸内細菌などの微生物のこと、自然環境のことなどなど、発信していきます☺
「**ザ・食物繊維**」のサイトのメニューバーから「ブログ」をクリックしてくださいね。
http://blog.goo.ne/susanomura（スサの邑 ブログ で検索もできます）。ぜひこれからチェックしてみて下さいね～!!

昆虫の世界

NHKスペシャル「超・進化論」2022年11月13日放送分より ご紹介いたします☺

微生物の世界」「植物の世界」と紹介してきた特集、今回は「昆虫の世界」です。昆虫は驚異の適応力で14億年も前からあらゆる場所に適応して生きぬいてきたようですよ。

Point1 あらゆる場所に適応してきた昆虫たち

地球上の全生物は200万種と言われています。私たち哺乳類は6千種、植物は40万種、昆虫はなんと、全生物の約半数の100万種にも及ぶようです。これほどの種の爆発をもたらしたのは、昆虫の適応力のおかげ…それは「**飛翔力**」と「**完全変態**」です!!!

Point2 昆虫の飛翔力は型やぶり!!

昆虫の飛行は現代の科学では一般的ではない、型破りなメカニズムを使った並外れたものだそうです。鳥よりもずっと小さな羽を持つことで、世界の隅々まで行き渡ることができる昆虫。しかし羽が小さいと落ちてしまうはず…なんと昆虫は独自の羽の動かし方、飛翔能力を進化させていたのです。この昆虫の独自の羽の動かし方は、ぜひ動画で。NHKのサイトから10分間の番組ショート動画、配信中です。

Point3 昆虫だけの魔法「完全変態」とは!?

幼虫からサナギ、そして成虫へ、全く違う生き方を可能にした「完全変態」。この進化こそがどんな環境でも生きられる昆虫の適応力を加速させました。バッタやカマキリなど完全変態しない昆虫は、卵から成虫まで同じ環境に住むため、環境が限定され種数が限られてしまいます。幼虫時期をイモムシで過ごす昆虫は、森の中、土の中と、適応できる場所を広げていったのです。

Point4 圧倒的な多様性!

完全変態する昆虫は89万種。飛翔能力のある昆虫は約9割。独自の適応戦略によって、圧倒的な底知れぬ多様性が昆虫の世界にはあります。それぞれが関わりを持って生態系が出来上がっています。どの生き物がどれだけ重要か、ということはまだ分かっておらず、だからこそ尊く美しいのだ、と番組で言われていました。

じいじ畑ばなし

★ 先日、北海道から古い友人のMさんが「スサの邑」まで遊びに来てくれました。Mさんは自然農法ではないのですが、北海道で有機農業を50年近く続けておられます。今回は三年ぶりの再会でしたが、農業の話ばかりではなく、いつ会っても話は尽きません。三ヶ所の畑を案内したほかは、ずっと話し込んでしまいました。

★ 「カバークロップ&生き草マルチ」が特集だった「現代農業」という雑誌が届いたこともあり、カバークロップ&不耕起農法の話も、Mさんとすいぶんできました。（「現代農業」の1月号の特集も「時代は浅耕・不耕起」だったようです）。

★ カバークロップもできるだけ多種類の草の方が良いようで、これはできるだけ多種類の食物繊維を摂取して腸内細菌叢を豊かに多様することと同じだろうと思います。
それに加えて、もう一つのメインとして、無条件の感謝と祝福のエネルギーを惜しみなく注ぐことで、腸内細菌叢も畑も豊かな共生の喜びの場に変貌していくはずです。

★ 昨日は、二号地にキャベツやブロッコリーを定植して、今日はカボチャの苗を定植してきましたよ。
今日定植したカボチャ50本ほどはスープ用で、温床で育苗していました。
二号地も水はけが悪くて、カボチャがうまく育つかどうか分かりませんが、無条件の感謝と祝福のエネルギーを注いでいきます。

★ そういえばNHKの朝の番組で腸内細菌のことをやっていました。1000種類、1000兆個の腸内細菌のバランスをとるには、彼らのエサが大事で、細菌の種類によって好みのエサも違うので、できるだけ多種類の食物繊維を摂取することが必要とのことでした。
カバークロップをできるだけ多種類栽培することと同じ原理ですね。
利用や効率ではなく、共生の喜びをベースにしてこそ、人間にとっても嬉しい現実がもたらされるのだろうと思います！

「スサの邑」のブログで、畑の様子や写真もたくさんのせていきますね。今は南部小麦の穂が出始めた緑美しい畑の写真アップしていますよ。ごらん下さいね。

おしらせ

- 「ドライ納豆」販売しています。ぜひどうぞ。
- 土日は商品発送業務はお休みしております。
- 商品お買い上げの方へ、3個以上の方、送料調整兼ねてサンプルをプレゼントしています。

先日90歳のスサの邑大きいばあばがイチゴジャムをたっぷりたくさん作ってくれました。毎年、楽しみに待っている孫たち・ひまごたちの為に、作ってくれていました。今年、久しぶりに作れて、大きいばあばもうれしそう。もちろんいただく私たちはとってもうれしい。作り方もブログでご紹介していますよ♡

作成者 薫子 作成日 5/24

スサの邑
〒669-2346 兵庫県丹波篠山市西岡屋491
Tel：Fax：079-506-2892
メール：info@shokumotsuseni.com
インスタ：Susanomuraa